

注射による花粉症治療のご案内

毎週木曜日 呼吸器科 上野医師

対象疾患:花粉症(主にくしゃみ、鼻水がひどい方) アトピー性皮膚炎

投与方法:ヒスタグロビンを週に1回皮下注射し、続けて3週間おこないます(1クール)。
十分な効果が得られない場合、効果が薄い場合は投与量を調整し、もう1クール皮下注射します。その後、効果を維持したい方は3か月ごとに1回投与します。
ヒスタグロビンの効果を高めるため、ノイロトロピンを一緒に投与する予定です。

注射が使えない方

- 過去にヒスタグロビン注射を打ってショックの既往歴がある方
- 激しい喘息発作中の方
- 月経直前・月経中の方 ・ 妊娠の可能性のある方

注意点

- ▲ 予防接種を受ける、または受けた場合は1か月前後間隔をあける必要があります。
- ▲ 献血は最終投与日より6か月程度あけてください。
- ▲ 注射をお考えの方はシーズンが始まる1か月ほど前に始める事をお勧め致します。